

主体的に学ぶ

活動先：NPO 法人 地域福祉サポートちた

サービスマーケティングの活動を通して、色々な経験をする事は、全て自分のためになっていくということに気づいた。また、NPO は人々が安心して幸せに暮らしていくために、活動を行っていることを知った。すべての人が住みやすい地域に変えていくために、市民性を育むことの大切さ、そして地域福祉を学ぶことの大切さを学んだ。

活動の計画をたて、それを実行するという、全て自分たちで考えて行う活動であったため、今までに経験したことないこと、苦手なことにぶつかることがあった。特に、活動全体を通して、自分の思ったことを人前で話す機会が多くあり、その時に上手く言葉で表現できず、困ってしまうことがあったり、初めての活動で戸惑い、自分が何をすればよいか分からなくなってしまうなどの経験があり、反省をすることが多くあった。しかし、グループでの話し合いや日々の活動記録を書く中で、失敗を後悔するだけではなく、反省を次に生かそうと振り返ることができた。また、活動先の方から、色々なことを経験したり、学んだり、話をする機会を何度も重ねることが大切だと教えていただいたことで、失敗を恐れず何事にも積極的に取り組んでいこうという考えを持つことができた。

サポートちたの活動の中で、事業に参加されている市民の方の意欲的な学びに触れ、私たち学生とは違う、学ぶことに積極的で、活気のある雰囲気圧倒させられた。自分たちと重ねて考えてみて、学生は自分たちの思いから学びの機会を得ているはずなのに、学ぶことをやらされているように感じてしまっているところがあると感じた。積極的に学ぶことは、学びへの関心、意欲が増すことにつながる。市民の方々の学ぶ姿から、学ぶことに対する意識の違いを感じ、積極的に学ぶことの大切さを学んだ。実習でもなく、インターシップでもなく、ボランティアでもない、サービスマーケティングの活動だからこそ、自分が主体となって学んでいこうとする事の重要性を感じる事ができた。講義を教室の中で聴いている学びだけでなく、実際に現場に出て活動を行ったことで、色々な経験をする事は、全て自分のためになっていくということに気づくことができたのである。自分の意思で勉強しているということ、しっかりと心に刻み、学びの機会を積極的に得ていく姿勢が大切であると考えた。

また、サービスマーケティングの活動を行って、人々が幸せに暮らしていける地域を実現させるために、地域福祉サポートちたを始めとした NPO 団体が活動しているということも学んだ。地域の中で生きにくいと感じている人、不安を抱えている人でも自分らしく生きていけるように支援を行い、人々を元気づけることで、地域全体を活性化することにつながる。そのことが、地域のために何か始めたい人、やらなければならないことに気付いた人の背中をそっと押し、一歩踏み出す勇気を与えているのである。一歩踏み出して声を上げることで、同じ思いを持った人や協力してくれる人に出会い、一人の思いが多くの人と共有されることで大きなものとなる。人と人とのつながりやネットワークができることで、

社会への働きかけを強くすることができるのである。各 NPO から発信されたメッセージが人々に伝わり、新たな活動を生み出すことで、少しずつ理想とする社会へと近づいていくと考える。高齢者、しょうがい者、子どもを含めた全ての人々が、地域の中で安心して豊かに暮らすためには、NPO が伝えるメッセージを地域の人々がしっかりと受け取り、自分の地域について考えることが大切なのである。そして、自分にできることから少しずつ行動に移していくことが必要である。全ての人自分が自分らしく、生き生きと地域の中で暮らしていける社会にするために、市民性を育むことは非常に大切なことである。市民が協力をして働きかけ、様々な選択肢の中で自分のニーズに合ったサービスを受け、幸せに暮らしていけるような社会づくりを行っていく必要があると考える。

サービスラーニングの活動全体を通して、人は様々な人に支えられて生きているということを実感した。人と人とのつながりの深さや温かさ、支えてくれる人たちがいることがどれだけ幸せであるのかを感じ、様々な人々が協力をして、私たちの生活を支えてくれているということに気づいた。活動を行ったことにより、NPO を身近に感じることができ、様々な人の思いを知ることで、地域の課題、そして一人一人が動き出すことの大切さを知った。また、大学と NPO のつながり、NPO の方々の協力、そして何度も話し合い、共に考えを出し合ってきたクラスやグループの仲間がいたことで、NPO を学び、地域福祉について考えるきっかけをつくることができた。そのつながりや経験を大切にして、これからの学習に活かしていきたいと考える。地域のために“自分は何ができるのか”ということ、しっかりと考えていきたい。